

1 概要

本校は、昭和24年4月に大阪市立生活科学研究所附設栄養学院として創立された。

当時は、終戦直後の混乱期で、極度の食糧不足により市民の栄養状態は非常に悪く食生活の管理や向上に携わる栄養改善のための指導者の養成が急務であった。そのため創立時は、厚生大臣指定の栄養士養成施設として1年制でスタートしたが、昭和25年4月に栄養士法の改正に伴い2年制となった。また同年9月には、研究所の改称により衛生研究所附設栄養学院となった。

その後、昭和49年12月に研究所の新築移転、改称に伴い、本校も環境科学研究所附設栄養学院と改称した。

昭和51年に学校教育法が一部改正され専修学校制度が発足し、本校は同年12月に文部省令による認可(専門課程)を受け、昭和52年4月から大阪市立環境科学研究所附設栄養専門学校と改称し、現在に至っている。

また、専修学校の専門課程の修了者に対する専門士の称号の付与に関する規定(平成6年6月21日文部省告示第84号)の制定に伴い、本校課程を修了した者に対して、専門士の称号を授与することが認可(平成7年1月23日文部省告示7号)されたので、平成7年3月卒業生から専門士(衛生専門課程)の称号を授与することとした。

本校創立以来、平成21年4月で60周年を迎えたが、その間にわが国の社会・経済情勢は大きく変化し、食生活をめぐる状況も食糧不足の時代から供給過剰時代へと著しい変貌を遂げた。その結果、国民の体位は改善され、平均寿命に関しては世界のトップになった。しかし、その反面、過剰栄養や栄養のアンバランスに起因する生活習慣病や肥満などの増加や、朝食の欠食、不規則な食事などの食生活習慣の問題が生じ、人びとが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進することが重要となってきた。本校は、このような生活環境の変化に対応しうる食生活の指導者である栄養士を養成するために、不断にカリキュラムの見直しを行い、その時代の要請に即応した専門知識、技能及び、教養を修得させる教育を行ってきた。

また、学校教職員は、健康指標からみた食生活調査や栄養改善のための基礎資料となる研究を行うと同時に、行政機関が主催する各種講習会に講師とし

て参加し、地域住民等への正しい食生活、栄養知識の普及啓発に当たっているほか、栄養士等の卒業教育にも力を注いでいる。

2 業務および行事

(1) 入学式

平成22年4月6日に、第62回入学式を環境科学研究所2階大会議室において挙行了。新入生は36名、第2学年に進級した者(第61回生)は33名で、在籍者は69名になった。

(2) 修業

前期授業 4月8日から7月7日まで
 前期試験 7月13日から7月22日まで
 後期授業 10月1日から1月19日まで
 後期試験 1月24日から2月3日まで

(3) 卒業式

平成23年3月10日に第61回卒業式を環境科学研究所2階大会議室において挙行了。卒業生は33名で、学校創立以来の卒業生総数は2,339名となった。

(4) 校外実習および見学

この実習および見学は、栄養教育および給食管理の実際を実地に修練し、また教育課程に関連した施設を実際に見ることによって、栄養士として具備すべき知識および技能全般を体得させることを目的としている。

ア 校外実習(臨地訓練)

厚生労働省の実施基準では、給食管理として学校・事業所において1単位以上とされているが、本校では、2年生を対象に臨床栄養学実習、公衆栄養実習、給食管理実習として病院2単位、社会福祉施設1単位、市立小学校1単位の臨地訓練を行った。

実施に際しては、学生を数名ずつのグループに分けて実習先に配属した。実習終了後、報告会で発表させ、さらにレポートを提出させた。

(ア) 学校実習(平成22年6月7日から6月11日まで市立小学校13校、枚方市立小学校1校において33名)

真田山小学校3名、天王寺小学校3名、栄小学校3名、小松小学校2名、北鶴橋小学校2名、南百済小学校2名、矢田北小学校3名、西生野小学校2名、巽南小学校2名、諏訪小学校2名、天下茶屋小学校2名、

新森小路小学校3名、平尾小学校2名、枚方市立津田南小学校2名

(イ) 社会福祉施設・保育園・保健福祉センター実習(平成22年8月2日から8月6日まで14施設において33名)

ひまわりの郷 2名、おとしよりすこやかセンター西部館 2名、香里寿苑 2名、加寿苑 2名、玉出東保育園 1名、ひかり学園 1名、めぐみ保育園 1名、山之内保育園 2名、こひつじ乳児保育園 2名、博愛社保育園 1名、ヨルダン保育園 1名、北区保健福祉センター 5名、東淀川区保健福祉センター 5名、東住吉区保健福祉センター 6名

(ウ) 病院給食実習(平成22年8月30日から9月10日の間で10日間、10病院において33名)

(独)大阪医療センター4名、貴島中央病院2名、日生病院2名、住友病院4名、大阪赤十字病院4名、枚方公済病院3名、大阪市立大学医学部附属病院4名、市立総合医療センター4名、市立十三市民病院2名、市立住吉市民病院2名

イ 施設見学

平成22年度に実施したものは次の通りである。

◎「京都・甘春堂」和菓子作り体験

(平成22年4月30日=1・2年生)

◎「アサヒビール吹田工場」「サントリー山崎蒸留所」見学(平成22年11月26日=2年生)

◎「サッポロワイン岡山ワイナリー」(岡山県)、「江崎グリコ」(兵庫県) 見学、「中野うどん学校」うどん作り体験(香川県)(平成23年3月14日・15日=1年生)

(5) 栄養教室

学生が日頃学んでいる教科や学習の内容を市民の方々に理解していただくと共に、栄養の知識を普及し、栄養指導の実践を体験してもらうことを目的に「栄養教室」を開催した。

「バランスのよい食事を体感しよう」をテーマとして、平成22年11月5日に栄養指導を行い、昼食には「実際にバランスのよい食事を体感！」を主題とした献立を提供した。また、11月6日には学校の近くにある桃陽小学校の児童とその保護者に対して親子教室を行った。

(6) 卒業研究(2年生)

平成22年7月23日～9月30日、2年生は環境科学

研究所のほか、大阪市立大学医学部附属病院で研修し、次の通り15のテーマで研究報告をまとめ、平成23年2月24日に卒業研究発表会を開催した。

課題名

1. 主食の違いによる血糖値の変化について
2. 都市ごみ焼却残渣からの重金属の溶出抑制手法の検討
3. 給食の調理により発生するごみ調査
4. アオコの基本的な増殖実験
5. 家の水回りのカビの特徴
6. LEDを用いた蚊のモニタリング装置の開発
7. 酸素系漂白剤を含む洗浄剤使用におけるホルムアルデヒド生成の可能性
8. 大阪市におけるトータルダイエット法による総水銀および残留農薬の摂取量調査
9. 生姜の機能成分について
10. 調理加工によるポップアマランス配合食品中の葉酸への影響
11. 亜鉛の摂取に伴うカドミウムの摂取リスクについて
12. カイワレ大根で生成する辛味成分の摂食・吸収についての予備的検討
13. 糖尿病食事指導に用いる111 弁当箱デバイスの妥当性の検討
14. 家庭における幼児の食育媒体の開発
15. 中学生向け弁当メニューの提案

(7) 特別研究(食育に関する研究)

今年度に入学者より、これまでカリキュラムの特別研究として実施していた卒業研究を廃止し、1年前期から2年の後期のすべての期間を使って、食育に関する研究を特別研究の授業として行うこととした。

1年生は、12月に実施する保育園や幼稚園の園児に対する食育活動に向けて、食育に関する講義を受けた後、食育に用いる教材の作製、園児に見せる劇のシナリオやクイズの作成などの準備作業を行い、下記の日程で、食育活動を行った。

○保育園児対象の紙芝居や創作劇

学生が保育所及び幼稚園に出向き、3・4・5歳児を対象に各年齢別に食育に関する紙芝居や創作劇を行った。

1. 平成22年12月13日、日の出さなだやま園3歳児25名、4歳児19名、5歳児13名
2. 平成22年12月14日、味原幼稚園3歳児20名、4歳児15名、5歳児22名

○保育園児対象の調理実習

保育園5歳児が来校し、調理室において調理体験を行う。実習中に、栄養についての話やクイズ等の食育活動を行った。

1. 平成22年12月14日、日の出さなだやま園園児 午後13名
2. 平成22年12月15日、味原保育所園児午前13名、午後14名
3. 平成22年12月16日、天王寺保育所園児午前9名、午後10名

その後、各活動について報告会を開催した。



(8) 体験入学

平成23年度入学試験の受験者を募集するのに先立ち、高校生を始め社会人までを対象に、体験入学を実施した。本事業の目的は、参加者に模擬授業を行い、学校の教育方針、内容、水準などを知ってもらうとともに、栄養士の業務を理解してもらい、本校受験の参考としてもらうためである。

実施内容は次の表のとおりである。

開催日時	平成22年7月31日(土) および平成22年8月5日(火)
10:00～	オリエンテーション
11:00～	模擬授業
12:00～	昼休み
13:00～ 15:00	コース別実習 A：調理実習 B：コンピュータによる栄養価計算 C：食品学実験
募集人員	各45名

実際の参加者は、7月31日が21名、8月5日が12名、合計33名であった。

(9) 入学試験

平成23年度入学生(第63回生)を選抜する入学試験では、従来化学Ⅰの学科試験を行っていた推薦入試の受験科目を小論文試験に変更した。平成22年11月23日に推薦入試の試験と面接を行い、書類審査を含めた総合判定のうえ、12月1日に合格者7名を決定し通知書を発送した。

また、平成23年2月11日に一般入試の学科試験(数学[数学Ⅰ、数学A(確率のみ)]、生物Ⅰ、化学Ⅰから1科目を当日選択)を実施し、同日に学科試験受験者36人に対して面接試験を行った。翌週2月16日に合格者28名を発表した。

平成23年度入試の出願者は推薦7名、一般38名で、競争率は推薦1倍、一般1.4倍であった。

(10) 第61回卒業生の就職状況

平成23年3月10日に卒業した第61回生(33名)の就職状況は次の通りである。

◎ 栄養士として就職した者	30名
(内訳) 学校	1名
病院(官・民含む)	9名
社会福祉施設	10名
試験・研究室	2名
PR・栄養指導	4名
事業所給食	2名
その他	2名